

今号は問題の解答と解説になります。

2語以上の分詞なので、後ろにつける。
そして、主文も↓まで完成です。

S	V
[The man <running there>]	is
SP?	

第2文型

C: 私の体育の先生

S	V	C
[The man <running there>]	is	my gym teacher
SP2		

これで完成です。

「体育」はgym、あるいはP.E.と言います。
P.E.はphysical educationの頭文字です。

【答え】 The man running there is my gym teacher.

■2. 私は新聞に書かれているこの文字が読めません。
(newspaper/letter/the/read/on/write)

S: 私
V: 読めません

S	V
I	can't read
SP?	

第3文型

O: 新聞に書かれているこの文字

本体の名詞this letter「この文字」に、
「新聞に書かれている」という形容詞が必要。

文を原材料としていて、受動態の意味。

この場合は、過去分詞で表現できます。

S: 略（分詞の形容詞のSは略なので）
V: 書かれている

S	V
略	written
SP?	

第3文型の受動態で、「新聞に」を入れて、過去分詞が完成。

これで完成となります。

【答え】 The sculpture abandoned three days ago was really valuable.

■4. マイクは注目されるべき選手です。
(player/attention/be/pay/Mike/the/to)

S : マイク

V : です

S	V
Mike	is

SP?

第2文型

C : 注目されるべき選手

本体のthe player「選手」に、「注目されるべき」を入れます。

これは受動態の意味ではありますが、
「～べき」という義務的な意味が入っています。

義務的な意味は不定詞で表すことができました。

なので、不定詞で作っていきます。修飾用法です。

S : 選手、だけど、修飾される名詞と同じなので、消去！

V : 注目される

S	V
消	to be paid attention to

SP?

第3文型の受動態で、入れる副詞もないので、これで不定詞が完成。

S	V
消	to be paid attention to

SP3p

そして、文全体も完成となります。

S	V	C
Mike	is	[the player <to be paid attention to>]

SP2

【答え】 Mike is the player to be paid attention to.

■5. あまりに多くの落ち葉があり、それらは緑の絨毯のように見える。
(green/leaf/carpet/like/fall/many/be/look/a)

「ある」という意味なので、「there be S」を使います。

S: あまりに多くの落ち葉

「落ち葉」は、fallen leavesで表現できます。

fallは第1文型の動詞で、受動態にはできませんが、
fallen leafは例外的に、第1文型の動詞であっても、
過去分詞にして、「落ちてしまった」という意味を出せます。

また、「あまりに」はsoで表現。

名詞につけるのはsuchですが、manyやmuchが付いている名詞は例外で、
soをつけます。

	V	S
(There)	are	so many fallen leaves

SP1i

挟むso thatで、that節を作っていきます。

S: それら
V: 見える

S	V
they	look

SP?

第2文型

C: 緑の絨毯のように

S	V	C
they	look	<like a green carpet>

SP2

これでthat節が完成で、文全体も完成となります。

V	S
(There) are	[so many fallen leaves that they look like a green

SP1i

carpet]

【答え】 There are so many fallen leaves that they look like a green carpet.

■6. 足を組んで座るのは失礼です。
(leg/rude/cross/be/sit/with)

S: 足を組んで座るの
V: です

Sが文です。この場合は、it is toかit is that。

今回は助動詞もないので、不定詞を使用します。

S	V
It	is

SP?

第2文型

C: 失礼

S	V	C
It	is	rude

SP2

続いて、不定詞作りです。

S: 略（一般論であり、誰がかは重要でないの）
V: 座る

S	V
略	to sit

SP?

第1文型で、「足を組んで」を入れます。

これは付帯状況のwith。「with 名詞 形容詞」で表現できます。

名詞は、your legs（一般論で人を表す場合yourを使用します）で、
形容詞には「組んで」という意味を使います。

crossは「組ませる」という意味。
なので、受動態にして、「組まされる」

S	V
略	crossed

SP3p

これをつけて、不定詞が完成。

S	V
略	to sit (with [your legs <crossed>])

SP1

そして、文全体も完成となります。

S	V	C
It	is	rude {to sit with your legs crossed}

SP2

【答え】 It is rude to sit with your legs crossed.

■7. 今修理中の橋は、ベイブリッジです。
(bridge/now/Bridge/the/the/repair/be/Bay)

S : 今修理中の橋
V : です

Sは、本体のthe bridge「橋」に、「今修理中の」をつけます。

これは、「今修理されている最中の」という意味。
進行形の受動態と言えます。

これは、進行形の過去分詞で表現できます。

S : 略
V : 修理されている

S	V
略	being repaired

SP?

第3文型の受動態で、「今」を入れて、過去分詞が完成です。

S	V
略	being repaired (now)

SP3p

そして、主文も↓まで完成。

S	V
[The bridge <being repaired now>]	is

SP?

第2文型

C : ベイブリッジ

S	V	C
[The bridge <being repaired now>]	is	the Bay Bridge

SP2

これで完成となります。

【答え】 The bridge being repaired now is the Bay Bridge.

■8. 昨日、私が公園に行った時、政治の演説をしている人がいました【過去形】
(give/a/go/political/yesterday/the/be/person/speech/park)

「～がいた」という意味で、「there be S」を作っていきます。

S : 政治の演説をしている人

これは本体のa person「人」に、「政治の演説をしている」をつけます。

進行形の意味なので、現在分詞。

S : 略

V : している

S	V
略	giving

SP?

第3文型

O : 政治の演説

S	V	O
略	giving	a political speech

SP3

これで現在分詞が完成で、主文も完成。

V	S
(There) was	[a person <giving a political speech>]

SP1i

続いて、when節を作っていきます。

S : 私

V : 行った

S	V
I	went to

SP?

第3文型

O : 公園

S	V	O
I	went to	the park

SP3

最後に「昨日」という副詞を入れて、when節が完成。

	S		V		O	
.	I		went to		the park (yesterday)	
.			SP3			

そして、文全体も完成になります。

		V		S	
.	(There) was		[a person <giving a political speech>]	(when I went	
.		SP1i			
	to the park yesterday)				

【答え】 There was a person giving a political speech when I went to the park yesterday.

第24号の内容は以上となります。

今後も英語学習のお役に立てればと思っておりますので、
何卒よろしくお願いいたします。